

第55回織田幹雄記念国際陸上競技大会ポスターへ込めた思い

毎年シーズン始めに行われるこの織田記念大会での結果は、選手の思いを大きく左右してきた。冬季練習の結果を知る一つの大きな自己分析の機会となることも理由の一つである。また、次のステージに進むためのチャンスとなる大会であったからかもしれない。さまざまな喜怒哀楽がある織田記念大会だからこそ、ポスターに選手へ伝えたい思いや願いを込めてきた。織田幹雄先生の偉業の根底にある人となりを表現し、伝えたかった。感じ方は人それぞれでよい。でも、この大会を機に、織田先生の一面を知り、結果だけでなく、人として、今の自分と向き合う一助になればと。

今回のポスターは、実は、東京オリンピック開催決定後、6年かけて準備したものである。

オリンピックシンボルマークの5つの輪の意味は、世界にある5つの大陸を意味していると言われている。5つの大陸が重なり合っている大会、つまり、世界中が繋がり合っている大会であることを表している。

その5つの輪は、世界の英語の綴り **World** の頭文字にちなんで、**W** の形になるように配置されている。

また、オリンピックマークには、青・黄・黒・緑・赤の5色が使われている。この5色には、諸説いろいろある。5つの自然現象を意味している説では、「青は水、黄は砂、黒は土、緑は木、赤は火」だと。スポーツの5大鉄則説では、「青は水分、黄は技術、黒は体力、緑は栄養、赤は情熱」だと。他にも、下地にある白にこの5色を合わせると、世界中の国旗のほとんどを描くことができることから、この色が選ばれたという説もある。1914年のIOC設立20周年記念式典での発表以来の歴史あるマークである。

織田記念大会に込めた思いと、このオリンピックシンボルマークのもつ意味を重ね合わせる思いで今回のポスターを作成した。出場する選手の活躍を願うとともに、織田幹雄先生が大切にされたことば「世界人となるべし」を皆様へ贈りたい。

広島陸上競技協会
企画広報委員長
藤原 文代